

Socially Engaged Art

社会を動かすアートの新潮流

2017/2/26 [Sun.] 17:30-19:00

ギャラリートーク&セッション

「アイ・ウェイウェイの新作《ライフジャケットの輪》とその背景」

講師：片岡真実 (森美術館チーフキュレーター) / インタビューア：村尾信尚 (NEWS ZERO メーンキャスター、関西学院大学教授)

Gallery Talk and Session

Ai Weiwei's New Work and His Commitment to Documenting the Refugees

Lecturer: Mami Kataoka / Interviewer: Nobutaka Murao

会場 Arts Chiyoda 3331 (ギャラリートーク後、1階コミュニティスペースで開催)

定員 50名 (先着順 事前申し込み不要)

参加費 500円 (ギャラリートークは別途、展覧会入場券が必要です)



アイ・ウェイウェイ《ライフジャケットの輪》2017年
Ai Weiwei, Rings of Life Jackets, 2017 Photo credit: Ai Weiwei Studio.

現在ベルリンを拠点に活動するアイ・ウェイウェイは、昨年、トルコからギリシアのレスボス島に流れ着いた難民たちが脱ぎ捨てたライフジャケット 14,000枚をベルリンの劇場の柱に巻きつけた作品で、難民問題に揺れる国際世界へ強いメッセージを送った。本展のために制作された同シリーズの新作について、森美術館での大規模な個展(2009年)を企画した同館チーフキュレーターの片岡真実さんが解説。

また、アイ・ウェイウェイに二度にわたりインタビューを行ってきたニュースキャスターの村尾信尚さんと、社会を動かそうとするアーティストたちの活動とその背景に迫る。



Photo: Daniel Boud

片岡真実

Mami Kataoka

東京オペラシティアートギャラリーを経て、2003年より森美術館に勤務。「六本木クロッシング」(2004、2013)、「小沢剛展」(2004)、「笑い展」(2006)、「ネイチャー・センス展」(2010)、「会田誠展」(2012)などの企画を担当。2009年に企画したアイ・ウェイウェイの大規模な個展「何に因って」は46万人を動員、その後国際巡回した。現在、CIMAM(国際美術館会議)のボードメンバー、グッゲンハイム美術館アジア・アート・カウンシルのメンバー。2018年に開催される第21回シドニー・ビエンナーレのアーティストティックディレクターにアジア人として初めて就任。



村尾信尚

Nobutaka Murao

大蔵省時代に、国際人道支援を行うNGOやNPOを支援するためのジャパン・プラットフォームの設立に携わり、NGO、経済界、政府が協働するシステムを確立。当時から、政府の中枢にあって、国際社会への貢献や、社会に貢献する企業活動「ソーシャル・アントレプレナーシップ」の重要性を説いてきた。2006年よりNEWS ZEROのメインキャスター。アートと社会貢献に高い関心をもち、アイ・ウェイウェイには東京と北京で二度インタビューを行ってきた。本展におけるアイ・ウェイウェイの新作の実現にも協力。